

令和6年第11回にかほ市教育委員会 定例会

日 時 令和6年10月23日（水）

午後1時30分～

場 所 金浦公民館 2階 軽運動室

議 事 日 程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 報告第2号 専決処分の報告について
- 第 3 報告第3号 専決処分の報告について
- 第 4 報告第4号 専決処分の報告について
- 第 5 報告第5号 臨時代理の報告及び承認について
- 第 6 報 告

令和6年10月23日招集

令和6年第11回
にかほ市教育委員会会議録

にかほ市教育委員会

令和6年第11回にかほ市教育委員会会議録

1. 期 日 令和6年10月23日 水曜日
2. 場 所 金浦公民館 研修室
3. 開 会 午後 1時30分
4. 閉 会 午後 2時16分

5. 出席委員 教育長 小 園 敦
委 員 伊 藤 知
委 員 佐 藤 道彦
委 員 小 松 雅子
委 員 佐 藤 緑

6. 説明のための出席者

教 育 次 長	佐 藤 喜 仁
教育総務課長	山 田 高
学校教育課長	菊 地 良
生涯学習課長	鈴 木 直 子
仁賀保公民館長	佐々木 美 和
仁賀保勤労青少年ホーム館長	齊 藤 浩 司
フェライト子ども科学館長	鎌 田 昭 義
白瀬南極探検隊記念館長	佐々木 真紀子
文化財保護課長	齋 藤 泉

7. 書 記 教育総務課副主幹 加 賀 真珠美

8. 会議に付した議案

報告第2号	専決処分の報告について
報告第3号	専決処分の報告について
報告第4号	専決処分の報告について
報告第5号	臨時代理の報告及び承認について

9. 可 決 し た 議 案

報告第2号	専決処分の報告について
報告第3号	専決処分の報告について
報告第4号	専決処分の報告について
報告第5号	臨時代理の報告及び承認について

10. その他の確認事項

- (1) 次回の教育委員会は令和6年11月22日(金)午前10時00分から金浦公民館で開催することにした。

11. 会議の要旨

【開会 午後1時30分】

【教育長】

ただ今から令和6年第11回にかほ市教育委員会を開催いたします。今回の出席委員は、5名です。

議事日程の第1「会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員には、伊藤委員と佐藤緑委員にお願いいたします。書記には、事務局の加賀副主幹を指名いたします。

それでは、日程の第2「報告第2号 専決処分の報告について」から議事日程の第4「報告第4号 専決処分の報告について」までの3件を一括して議題といたします。教育総務課長から説明をお願いいたします。

【教育総務課長】

報告第2号から報告第4号までの「専決処分の報告について」ご説明いたします。報告第2号と報告第3号は「にかほ市象潟郷土資料館運営協議会委員」と「白瀬南極探検隊記念館運営審議会委員」の同一人物の当て職の方の変更となります。当て職となっている「にかほ市観光開発株式会社 総支配人」が令和6年10月1日付けで変更がありましたので、専決処分し、報告するものです。変更者の氏名と任期については、議案書に記載のとおりです。また、報告第4号について「にかほ市フェライト子ども科学館運営委員会委員」の「TDK歴史みらい館 館長」につきましても同じく令和6年10月1日付けで変更がありましたので報告するもので、変更者の氏名と任期については、議案書に記載のとおりです。

このことは、先月の教育委員会におきまして「にかほ市教育委員会事務局事務決裁規則の一部改正」について承認いただいた、社会教育委員や公民館運営審議会委員などの委嘱、あるいは任命行為が伴う各種委員の承認について「委員に選任されるその役職にある者の変更に伴う単なる委員の変更」について、教育長の専決処分により処理することができると改正し、令和6年10月1日から施行したところで、早速、該当案件がありましたので、報告するものであります。報告第2号から第4号についての説明は以上です。

【教育長】

報告第 2 号から報告第 4 号について質疑、意見等はありませんか。

(なしの声)

それでは、報告第 2 号から報告第 4 号については、異議ないものと認め、原案のとおり承認することに決定しました。

次に、「報告第 5 号 臨時代理の報告及び承認について」を議題といたします。教育総務課長から説明をお願いします。

【教育総務課長】

報告第 5 号「臨時代理の報告と承認について」ご説明いたします。このことについては、先月の教育委員会におきまして「にかほ市教育委員会事務委任規則の一部改正」について承認いただいた、教育委員会が権限を持つ事務であっても、緊急を要する場合であって、会議を開く時間的余裕がない時には、その決定を教育長が臨時的に代理することができる「臨時代理」の規定を設けたもので、臨時代理した事務について、次の教育委員会で報告し、承認を求めることを条文に規定し、令和 6 年 10 月 1 日から施行したところで、早速、該当案件がありましたので、報告し承認を求めるものであります。教育委員会部局では、本日開催された、にかほ市議会臨時会に 3 件の補正予算を上程しましたが、いずれも 12 月補正予算を待たずに対処を要する案件で、臨時議会が招集されるこの機会に補正計上したものであります。教育総務課、学校教育課、白瀬記念館の 3 課における補正予算でしたが、内容につきましては、それぞれの課長より説明させていただきます。

(教育総務課長から順次、説明)

【教育長】

報告第 5 号について質疑、意見等はありませんか。

(なしの声)

報告第 5 号について、承認することにご異議ありませんか。

(なしの声)

それでは、報告第 5 号については、異議無いものと認め、原案のとおり承認することに決定しました。

次に、議事日程第 8「報告」に入ります。それでは、教育総務課長から順次、報告をお願いします。

(教育総務課長から順次、報告)

【教育長】

ただいま各課から報告がありましたが、確認したいことや詳しく聞いておきたいことなどはございませんか。

【佐藤緑委員】

再来年度ににかほ市が「奥の細道サミット」の会場になるそうですが、メインの事務局になるのが象潟郷土資料館となるのでしょうか。全国の自治体が来訪すると思われます。にかほ市をPRする場になると思いますので、よろしくお願いします。

【文化財保護課長】

観光課やその他にも関係のある課と連携をして進めたいと思います。

【伊藤委員】

秋田空港に池田修三さんの版画などが並んでいますが、あれはにかほ市から依頼したものでしょうか。そうであれば、見えてきている効果などはあるのでしょうか。

【文化財保護課長】

観光課事業の一環となっています。3年間の計画で実施したもので、既に3年は経過していますが、秋田空港から継続して展示させてほしいという話があって、現在も継続しているものです。象潟郷土資料館への来館者数のカウント等を行っておりませんでした。

【伊藤委員】

池田修三さんの資料や作品は象潟郷土資料館に展示してあります。秋田空港で池田修三さんの作品を知り、象潟郷土資料館の入館者数やインバウンドが増えたなどの効果はないでしょうか。各資料館や博物館全てで言えることですが、それぞれPRをしたのならば、その効果が出ているかどうかを確認するべきだと思います。PRを実施したことによってどのような効果が得られているかを掴んで、次の事業に活かす必要があると思います。観光課に限らず、各館が独自に把握するべきだと思います。

【教育長】

この場で出たご意見を関係課と情報を共有して、活かしてほしいと思います。

【小松委員】

秋田空港に行くと、池田修三さんの版画を見て良い反応をされる方がとても多くいらっしゃる印象です。池田修三さんの絵はとても印象に残りますが、そこからにかほ市に繋がっていないように思います。そこで象潟郷土資料館のパンフレットやほかの施設のパンフレット等置かせてもらう等、にかほ市に来ればどんな施設があるのか、にかほ市

へのアクセスの方法等、一瞬で分かるような仕掛けなど、是非観光課とも話をしていた
だきたいと思います。

【教育長】

貴重なご意見をありがとうございます。

それでは、私から報告をします。

(教育長から報告)

以上で、全ての審議が終わりましたが、委員の皆さんから何かありませんか。

(なしの声)

ないようですので、次回 11 月の教育委員会の開催については、11 月 22 日（金）午前
10 時 00 分から金浦公民館で開催したいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、本日の委員会に提案された議案の審議は全て終了しましたので、これをもちまして、第 11 回にかほ市教育委員会を閉会します。

【閉会 午後 2 時 16 分】

署名

にかほ市教育委員会 教育長

小園 敦

” 委 員

伊藤 知

” 委 員

佐藤 緑

教育総務課

1. 9月・10月の修繕等の発注実績

○金浦小学校体育館排煙オペレーター修繕 ※9/26 随意契約

契約金額：¥107,800

期 間：契約日～令和6年10月25日

業 者：齋藤建設 株式会社

内 容：フェース交換・取付

○平沢小学校駐車場砂利敷業務 ※10/18 随意契約

契約金額：¥297,000

期 間：契約日～令和6年12月20日

業 者：株式会社 あべ建設

内 容：砂利敷き、転圧

○金浦小学校 階段手摺りブラケット交換

金 額：¥49,500

期 日：令和6年10月4日

業 者：三共 株式会社

内 容：ブラケット3箇所交換

学校教育課

1. 事業報告

10月 1日 (火)	学校訪問 (金浦小) 午前
10月 2日 (水)	就学時健康診断 (象潟)
10月 9日 (水)	学校訪問 (金浦中) 午前
10月10日 (木)	就学時健康診断 (仁賀保・金浦)
10月11日 (金)	学校訪問 (院内小) 午前 にかほ市校長会 午後
10月17日 (木)	第2回教育支援委員会 (金浦) 中学生と管内企業ふれあいPR事業 (仁賀保中)
10月18日 (金)	学校訪問 (象潟小) 午前
10月19日 (土)	金浦小学校創立150周年式典
10月21日 (月)	学校訪問 (平沢小) 午前 (仁賀保中) 午後
10月22日 (火)	学校訪問 (象潟中) 午前

2. 事業計画

10月24日 (木)	第2回教育支援委員会 (象潟) なかよし交流会 (市内特別支援学級)
10月25日 (金)	平沢小学校創立150周年記念式典
10月30日 (水)	第2回教育支援委員会 (仁賀保)
10月31日 (木)	中学生と管内企業ふれあいPR事業 (象潟・金浦中)
11月 7日 (水)	象潟中学校公開研究会 第1回教育長会議
11月12日 (火)	市校長連絡会
11月13日 (水)	第3回教育支援委員会
11月19日 (火)	象潟小学校公開研究会
11月21日 (木)	いじめ・不登校連絡会議
11月22日 (金)	にかほ市PTA連合会教育懇談会
11月28日 (木)	市教頭会④

生涯学習課・金浦公民館

1. 事業報告

9月26日(木)	高齢者学級 金浦福寿大学 9月授業 創作活動「みんなで作ろう! 創作活動」 ポーセラーツ・手芸	27人参加
9月28日(土)	アンニョンハセヨ☆韓国講座②	10人参加
9月30日(月)	第1回「二十歳を祝う会」実行委員会	7人参加
10月 5日(土)	アンニョンハセヨ☆韓国講座③	14人参加
10月10日(木)	ほんわっカフェ	親子1組参加
10月14日(月)	放課後子ども教室 浜っ子クラブ 「スポレク祭に行こう」	8人参加
10月21日(月)	子育てサークルまんまある 「アロマを楽しもう!」	1組3人参加

にかほ夢ギャラリー(金浦) 展示 10月 「ものづくり綾 作品展」

2. 事業計画

- 10月24日(木) 高齢者学級 金浦福寿大学 10月授業
「金浦小学校と一緒にニュースポーツを体験しよう！」
- 10月26日(土)～27日(日)
にかほ市民文化祭 発表部門 仁賀保勤労青少年ホーム
- 11月 2日(土)～4日(月)
にかほ市民文化祭 展示部門 市内3公民館及び体育館
- 11月 8日(金) 第2回「二十歳を祝う会」実行委員会
- 11月10日(日) 子育てサークルまんまある&ほんわっカフェ
「手形足型エコバック作り」
- 11月16日(土) 放課後子ども教室 浜っ子クラブ
「手話してみよう」
- 11月19日(火) カラダのばす講座③ (Zoom 配信あり)
- 11月20日(水) 高齢者学級 金浦福寿大学 11月授業
3公民館高齢者学級合同事業「カンプレ45」
仁賀保勤労青少年ホーム
- 11月24日(日) 第32回日本海に響け！太鼓の祭典
仁賀保勤労青少年ホーム
- 11月30日(土) 公民館講座「肉まんが食べたい」

にかほ夢ギャラリー(金浦) 展示 11月 「楽・楽教室 作品展」

図 書 館

1. 事業報告

テーマ展示

仁賀保分館 「本屋大賞じゃない本」
象潟分館 「探偵は素人!？」
図書館こぴあ 「夜長月」(継続展示)

9月27日(金) ブックスタート事業 3人参加

10月 1日(火) にかほ市読書感想文募集要項(一般の部)全戸配布

10月11日(金) 第48回秋田県図書館大会 秋田生涯学習センター
館長出席、班長・図書司書リモート出席

10月12日(土) おはなし会 ボランティア「いぶき」2人参加
子ども3人・保護者4人参加

10月17日(木) 金浦小学校2年生校外学習 21人来館
(ほか引率2人)

2. 事業計画

10月25日(金) ブックスタート事業

10月25日(金) にかほ市読書感想文募集事業(中学生の部) 締め切り

10月26日(金)～11月4日(月) 3館 秋のリサイクルブックフェア
※にかほ市民文化祭イベント

11月28日(木) にかほ市読書感想文第3回審査会

読書通帳冊数(10月16日現在)

こぴあ: 230冊、仁賀保分館: 256冊、象潟分館: 113冊

仁賀保公民館

1. 事業報告

- 9月27日（金） ○「知らなかった！」電気講座 7人参加
- 9月29日（日） ○キッズユートリック「フライングディスク」
22人参加
- 10月 8日（火） ○痛み解消体操エゴスキュー② 16人参加
- 10月12日（土） ○にかほ再発見！自然観察会② 17人参加
竜ヶ原湿原と赤滝
- 10月16日（水） ○むらすぎ学園 市内施設見学 41人参加
障がい福祉サービス事業所さん・とらっぷ&分場
多目的福祉センター「ふくふく」
- 10月19日（土） ○キッズユートリック「酒田市の自然を満喫しよう！」
12人参加
- にかほ夢ギャラリー（仁賀保）展示
- 10月 ○「ゆり支援学校ミニ学校展」
出展者 秋田県立ゆり支援学校
- 「令和5年度仁賀保高等学校地域課題解決プロジェクト
発表ポスター展」
出展者 秋田県立仁賀保高等学校
（選挙会場となったため、10月15日で終了）

2. 事業計画

- 10月25日（金）～6日（水） ○市民文化祭準備等のため公民館使用不可
※但し、27日（日）まで、選挙投票会場
としてエントランスホール使用
- 11月 2日（土）～4日（月・祝）
○市民文化祭 2024
- 11月20日（水） ○三公民館高齢者学級合同事業
「笑顔を咲かせる青春ハーモニー
出前歌声喫茶カンプレ45」

にかほ夢ギャラリー（仁賀保）展示

- 11月 ○「SAKUUIV～祈りの花、静寂のあかり～」
出展者 三浦小百合氏

象潟公民館

1. 事業報告

- ・10月10日（木） 象潟公民館講座 ～鳥海山・飛島ジオパーク講座～
中島台獅子ヶ鼻湿原
講師 ジオパークガイド （受講者数10名）
- ・10月12日・19日（すべて土曜日） 象潟公民館講座 ～俳句の基本講座～
講師 齋藤 みどり氏 （受講者数累計16名）
- ・10月12日（土） 仁賀保・象潟公民館共催講座 ～にかほ再発見！自然観察会
講師 自然観察ニカホの会
- ・10月14日（月・祝） 友遊くらぶ 「スポレク祭へ行こう！」
会場 エスパーク★にかほ （受講者数13名）
- ・10月15日（火） 白寿大学 市外研修 山形県鶴岡市
「藤沢周平記念館と鶴岡公園周辺の歴史探訪」
（受講者数23名）
- ・10月20日（日） 象潟公民館講座 ～快適ライフスタイル講座②～
睡眠講座＋軽運動
講師 齋藤 真弓氏 （受講者数13名）

2. 事業計画

- ・11月2日（土）～4日（月・祝）にかほ市民文化祭2024
【会場】 象潟公民館、象潟体育館
【展示】 陶芸、手芸、生け花、園児・児童生徒作品など計33団体
【創作・体験】 お茶会、小物かご・ミニ獅子舞・小皿絵付け・木の実創作、
おとなも子どももおはなし会など 計8団体
- ・11月9日（土） 友遊くらぶ 「酒田米菓工場見学へ出かけよう！」
酒田米菓の見学とせんべい焼き体験
- ・11月20日（水） 白寿大学 3公民館高齢者学級合同事業
「笑顔を咲かせる青春のハーモニー」
出演 カンプレ45（秋田市）
- ・にかほ夢ギャラリー展示 10月～11月 池田修三木版画展「秋」
（象潟公民館） 出展者 文化財保護課

仁賀保勤労青少年ホーム

1. 事業報告

○展示室入館者の実績

	R6	R5	増減	増減率
4～9月計	170	168	2	1.01%
うち9月	18	72		

※2021年4月1日より市内来館者を無料としました。

にかほミュージアムスタンプラリー R6.7.20～9.1

○トレーニング室利用者の実績

	R6	R5	増減	増減率
4～9月計	6,017	5,685	332	5.84%
うち9月	948	791		

○トレーニング室利用登録者の実績

	R6	R5	増減	増減率
4～9月計	183	199	△16	△8.04%
うち9月	21	22		

10月3日 トレーニング室新規利用者講習会 11名参加

10月26日 市民文化祭2024（音楽祭）観覧者

10月27日 市民文化祭2024（芸能祭）観覧者

2. 事業計画

11月7日 トレーニング室新規利用者講習会

フェライト子ども科学館

1. 事業報告

(1) 入館者数の実績

	R 6	R 5	比較	増減率	説 明
4 ～ 9 月 計	21,639 人	17,083 人	4,556 人	26.67%	
うち 9 月	2,976 人	2,244 人	732 人	32.62%	

(2) 事業実績

9月28日(土) (公)日本磁気学会第30回公開講演会 体験ブース設置
会場：秋田大学 参加者：小中学生50名

10月10日(木) 発明工夫・未来の科学の夢絵画展審査会
・発明工夫展 出品数 56点 入賞12点
・未来の科学の夢絵画展 出品数360点 入賞30点

2. 事業計画

11月 2日(土) 発明工夫・未来の科学の夢絵画展表彰式

11月 2日(土)～4日(月)

発明工夫・未来の科学の夢絵画展展示会

11月11日(月) 消防訓練・救急救命訓練

11月16日(土) 由利本荘市科学スティバル 体験ブース設置
会場：由利本荘市総合体育館(大内)

白瀬南極探検隊記念館

1. 事業報告

○ 入館者数の実績

	令和6年度	令和5年度	比較	増減率
4月～9月	7,091	6,603	488	7.4%
うち9月	1,001	969	32	3.3%

10月 1日(火) 無料開放日(市制記念日) 来館者30人

10月 2日(水) デジタルアーカイブ構築業務視察
横手市文化財保護課 4人

10月 3日(木) 白瀬・南極出前授業 象潟小学校5年生 44人

10月14日(月) 由利高等学校放送部 県大会作品制作取材対応 3人

10月17日(木) 第4回定例打合せ デジタルアーカイブ構築業務10人

2. 事業計画

11月 2日(土)～4日(月) 市民文化祭(展示部門) 無料開放

11月 7日(木) 白瀬・南極出前授業 平沢小学校5年生

11月20日(水) 南極観測船「しらせ」見送り及び白瀬隊子孫の集い

文化財保護課・象潟郷土資料館

1. 事業報告

(1) 入館者数の実績等

	令和6年度（人）	令和5年度（人）	比較（人）	増減率(%)
4～9月 計	1,346	1,692	△346	△20.4
うち9月	240	303	△63	△20.8

(2)10月1日(火) 郷土史研究会・松をまもる会合同研修（東成瀬村）（20人）

(3)10月1日(火) 市制施行記念日による無料開放日（7人）

(4)10月6日(日) にかほミュージアム「鳥海山木のおもちゃ館」出張ミュージアム

(5)10月7日(月) 第2回獅子ヶ鼻湿原保存活用計画策定委員会

(6)10月11日(金) 天然記念物「象潟」追加指定等 官報告示

(7)10月12日(土)～ 3市連携交流企画 北前船企画展（本荘郷土資料館）

(8)10月15日(火)～11月14日(木) 史跡鳥海山保存活用計画(案)パブリックコメント

(9)10月16日(水) 令和7年度文化財関係国庫補助事業ヒアリング

(10)10月21日(月)～22日(火) 白幡森地区開発事業に伴う埋蔵文化財分布調査

2. 事業計画

(1)10月29日(火) 秋田県文化財保護審議会・文化財現地視察(市内 方角石)

(2)11月2日(土) 象潟小学校郷土芸能発表会（小滝番楽）

(3)11月2日(土)～4日(月) 文化祭期間中入館料無料

(4)11月2日(土)～4日(月) 池田修三木版画展（象潟公会堂）

(5)11月6日(水)～22日(木) ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財分布調査(象潟前川地区)

(6)11月15日(金)～16日(土) 第37回奥の細道サミット in 大垣(岐阜県大垣市)

(7)11月16日(土) 秋田県子ども民俗芸能交流大会(由利本荘市民俗芸能大会合同開催)
(西目公民館シーガル：金浦神楽・横岡番楽)

(8)11月25日(月) 秋田県民俗芸能功労者表彰式（小滝舞楽保存会・吉川 栄一氏）

名 称	所 在 地	地 域
鳥潟会館庭園	秋田県大館市花岡町 字根井下	一五六番
西氏庭園	石川県金沢市長町三 丁目	一番、二番、三番、七番

○文部科学省告示第百四十八号

文化財保護法（昭和二十五年法律第二百四十四号）第百九条第一項の規定に基づき、次の表の上欄に掲げる名勝に同表の下欄に掲げる地域を追加して指定したので、同条第三項の規定に基づき告示する。

令和六年十月十一日

文部科学大臣 阿部 俊子

上	下
名 称	地 域
臨濟寺庭園	静岡県静岡市 葵区大岩町
昭和三十二年文部省告 示第百三十四号	一、二、七番のうち実測八六六・八三 平方メートル
同 大岩字城	一、二、九番のうち実測一六四九・一 四平方メートル、一、二、九番のうち 実測二一八八・六三平方メートル
備考 一筆の土地のうち一部のみを指 定するものについては、地域に關す る実測図を静岡県文化財担当部局及 び静岡市文化財担当部局に備え置い て縦覧に供する。	

○文部科学省告示第百四十九号

文化財保護法（昭和二十五年法律第二百四十四号）第百九条第一項の規定に基づき、次の表の上欄に掲げる天然記念物に同表中欄に掲げる地域を追加して指定するとともに、同法第百十二条第一項の規定に基づき、同表下欄に掲げる地域の指定を解除したので、同法第百九条第三項及び第百十二条第四項において準用する同法第百九条第三項の規定に基づき告示する。

令和六年十月十一日

文部科学大臣 阿部 俊子

上	中	下
名 称	所 在 地	地 域
象潟	秋田県にかほ 市象潟町字上 二本松	一、二番
昭和三十九年文 部省告示第 十六号	同 字二本松	五〇番二
同 字二本松	同 字象潟島	一番

同 字兵庫島	四番、七三番、七五 番三、一四三番、一 四四番	同 字家ノ後	一三一番
同 字鳥島	二番、五七番二、七 番一	同 字毘沙門	二番
同 字善階森	六三番一のうち実測 二〇三・〇〇平方 メートル、六三番二、 六五番、六六番、九 四番	同 字大門先	二九番、三一 番
同 字潤隠	二五番、三九番、四 番、四七番、五一 番	同 字大森	一七四番、二 五二番
同 字鷹放	二八番	同 字尼森	三二番
同 字弁天島	九七番一、九七番二、 一四二番、一四三番	同 字丹波崎	一番、三三番
同 字武道島	七番一、七番四、一 番、一二番	同 字砂エゴ	一番
同 字能因島	七番二	同 字タラノ	三二番
同 字絵松島	四番、九六番	同 字狐森	二八番
同 字砂エゴ	一番一	同 字鳥島	一〇二番
同 字天神下	六四番	同 字長島	七番
同 字狐森	二八番二	同 字深田下	三番、六番
同 字才ノ神	一〇二番一	同 字塩焼島	七二番、二二 番、二五番、二 六番、二七番
同 字男島	二二番、三〇番、四 番	同 字兵庫島	六〇番
同 字塩焼島	九番、六〇番一、六 〇番二	同 字深田下	五七番
同 字水越	二二番、二五番		三八番
同 字象潟島	二番一		
同 字大塩越	九一番		
同 字長島	三八番、三九番、四 〇番		
同 字入道島	四番		
同 字タラノ 木島	九番一		
備考 一筆の土地のうち一部のみを指定するものについては、地域に關する実測図を秋田県文化財担当部局及びにかほ市文化財担当部局に備え置いて縦覧に供する。			

先人の力とつながり

10月14日(祝)スポーツの日、にかほ市の竹島潟スケートパークでのイベントがテレビで報道されました。県内外のスケボー愛好家が、にかほ市で競技を楽しんでいる様子が紹介されました。

私はこの日、秋田県立博物館を訪問しました。県博では現在、9月28日(土)～12月1日(日)の日程で、企画展「稲穂の詩～秋田の米づくり」が開催されています。

この企画展は、秋田県立大学が後援し、県農業試験場、県総合食品研究センター、JAグループ秋田、JA全農あきた、県農業機械化協会、金足農業高校の協力を得て開催されています。

8月から9月にかけて全国的に米不足となり、国民生活に不安がよぎる時期もあっただけに、興味深い企画展でした。また、にかほ市に関する展示も多く、勉強になりました。企画展は第1章から第5章に至るまで、多様な視点で秋田の農業を紹介しています。特に秋田の農業を牽引してきた先人を紹介した展示はじっくり見ました。



はじめに、高橋正作(1803～1894年)が紹介されています。彼は生まれてすぐに、1804年の鳥海山の噴火と地震を体験していることになります。天保4年(1833年)「天保の大飢饉」では、秋田の人口約40万人のうち10万人が餓死しました。この時、正作は30歳。村の肝煎(村長)として、私財を担保に資金を借り、いち早く米穀を求めるため幾晩も眠らず血眼になって各地を奔走しました。その結果、食糧を得て、村から一人も餓死者を出しませんでした。また、院内銀山には、食糧を求めて全国各地から難民が集まり、その労働力で大量の銀鉱石を掘り出していました。しかし飢饉のため、炭焼きをする人が衰弱し、院内銀山が稼働しなくなり、秋田藩の経済が破綻すると考えました。そこで炭焼きを奨励し、炭の請負契約を制度化しました。その後、炭の販売を通して秋田藩の経済は回復しました。

次に、石川理紀之助(1845年～1915年)を紹介しております。潟上市には石川翁資料館もあり、聖農の誉れ高き偉人です。秋田県種苗交換会を企画し、実践したのも県庁勤務時代の業績です。私が興味を持ったのは、1863年歌人を志した19歳の理紀之助が、61歳の正作と巡り会い、人間の大きさに感激し自らの人生の方向を決めた点です。

「自分は、弱い立場の民衆を命がけで救済した正作翁のような農業指導者になりたい。民衆を救う生涯こそが、歌人よりも尊い」と志を抱きました。以来理紀之助は、正作から教



えを受け、父のように慕ったそうです。その後の理紀之助の人生は、窮民を命がけで救った師、正作の生き方に似ています。理紀之助は、77歳の正作を説得して、秋田県の農業指導者の筆頭として、横手盆地の開墾を指揮してもらいます。

秋田県が、現在日本有数の米作地帯になっている背景には、高橋正作と石川理紀之助という師弟関係にある偉人の存在があったと理解し、秋田の先人達の素晴らしさに感じ入りました。

このように、湯沢市や潟上市など、にかほ市以外の地域出身で秋田を切り開いた偉人を知ることができました。そして、いよいよ斎藤宇一郎（1866～1926年）の紹介ブースにたどりつきました。

勤労青少年ホームの1階に、斎藤宇一郎展示室を構え、その業績を広く県内外に発信しておりますので、皆さんも知っていることが多いと思います。しかし、県博の企画展で取り上げられたことに関して、改めて嬉しく誇らしく思うとともに、宇一郎の素晴らしさを振り返りたいと思います。

「功は人に譲り、責任は己が負ふ」を処世訓として故郷の農業改革に生涯を捧げた農政家。宇一郎は東大で農学を修めた後、明治学院大で教壇に立つなど様々な経験を積み、その後、故郷に戻って先進的な農業技術の普及に努め、秋田県の農業生産性の向上に大きく貢献しました。特に乾田馬耕法の普及にあたっては、農民に実証実験を行い、その効果を保証することで理解を得るなど、熱心な指導を行いました。

一方で、政治家として衆議院議員を8期23年務め、農村の開発には鉄道の敷設が欠かせないと考え、羽越線や五能線、横荘線（1971年廃止）に関する提案、水利組合条例改正法案や農業倉庫業法案などを提出します。災害時に地方の田畑の地租を免除して農民の生活を保障する「小作保険法」は、のちに「農業保険法」として制定され、現在も全国の生活を支えています。

斎藤宇一郎の業績を振り返るとき、現在の生活の基礎的な部分をしっかり保障する制度やスキルの原理・原則を明治から大正期に築き上げてきた点に気づきます。宇一郎の理念を引き継いで憲三が行ったあらゆるトライ、TDKの誕生と発展は、故郷の先人の偉大なる挑戦の賜物であると、改めて認識しました。

さて、この後の秋田の農業の進む道は、第5章に展示してありました。サキホコレを生みだした米作りの未来、農業のあり方については、「スマート農業」や「アイガモロボ」の活躍等、にかほ市で先駆的に取り組んでいる内容の紹介でもあり、この点も誇らしい限りです。

私たちは、人口減少や高齢化による地域社会への不安を抱いて生活しています。人口を増やして、活力を生み出す手立てを考えるとともに、今ある教育資源や財産を磨き上げ、今を生きる私たちが、秋田の歴史にキャッチアップし、そこからヒントやアイデアを創出して行きましょう。そのためにも、これからも秋田の先覚者、大先輩方の生き方や業績を大いに学びたいものです。



スマート農業

高齢化や担い手不足が深刻な日本の農業。加えて、温暖化や気候変動など、生産者の努力だけでは解決が難しい課題を抱えています。労働力不足の改善、高能率化にデジタル技術の活用が期待が高まっています。農林水産省は2021年、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するとして「みどりの食糧システム戦略」を発表しました。

この中には、2050年までに目指す姿として、農林水産業に伴う温室効果ガスの放出や、化石燃料由来の肥料の使用量を減らすといった環境負荷の低減策や、水産業において天然種苗の採捕量を減らすなど、生物多様性に与える影響を減らそうという取り組みが含まれています。

